

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートさのStudy		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63名	(回答者数) 47名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様に対して適正支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の定着を目標とし、職員がお子様ひとりひとりに合わせた、学習の取り組みを提供することができる。 ・お子様の課題から職員会議等で支援内容を検討し、できる方法を導くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者の職員が多く、知識や経験が豊富である。事業者内で、お子様の支援方法や対応を有資格者が中心となり、研修を行う。
2	保護者支援を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から事業所内相談を随時承り、実施することができていた。法改正になるが、個人的な家族支援も随時行うことができている。 ・送迎時、電話による子育て相談、モニタリング面談時の相談など児童発達支援管理責任者を中心となり、保護者様の相談に対して寄り添いアドバイスをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へ対応力の向上を図るために、専門的な知識獲得のために、研修や勉強会に参加してよりよい療育に繋がるように努めていく。
3	団体の活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がお子様の将来を見据えて、今やるべきことや身に付けることを見極めて、活動内容を定めることができる。 ・今年度は、考えて行動をする力をつけることができるように、お子様に自己決定経験を増やすことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子様に自己決定の経験を増やしていきながら、地域の方々にも協力してもらいながら事業所の外での活動の充実を図ることができるという。 ・いろいろな経験をしていく中で、ルールや社会性やコミュニケーションの力をつけていき、次のステージや将来に向けて活かせる療育を努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の知識や経験が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者だが、経験してきたステージが違うこと、経験が少ないことがある。 ・教職に関わった経験がない職員は、子どもたちの対応や保護者様への助言が難しいと感じてしまうことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験が豊富な有資格者を中心として、指導方法や対応に対して助言を行うことが必要である。 ・日ごろから支援方法や対応を聞くことができる雰囲気を作ることができる。
2	社外の研修に参加すること	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制が整わず、社外の研修会に参加できなかった。 ・資格更新研修など重なる職員がいて、参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に社外の研修会に参加するようにしていく。 ・現地開催ではなくオンライン研修などには、積極的に参加し療育の知識を身に付けることができるようにする。 ・専門性の勉強会に参加し、家族支援を充実させていく。
3	関係機関や地域支援や連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携は、お迎え時や長期業中お子様の様子で気になることを情報共有をすることができた。 ・下校時刻や行事などの連絡の情報共有ができる。 ・イベントの参加などができていない。 ・地域のお店にご協力いただき、買い物学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会のイベント等の積極的に参加を促す。 ・お子様の課題解決に向けて、必要に応じて学校や子どもクラブなども連携を図りながら、共通理解を図っていく。 ・事業所の活動にご協力をお願いをして、地域の方々との関わりを増やしていく。